神木山報
shibokusanpou
一隅を照らそう
9月号
368号
毎月28日発行
E-mail:info@tougakuin.jp

飛鳥の夢舞台

住職　中島　有淳

今年の夏、奈良を訪ねました。

橿原神宮、久米寺、飛鳥大仏、石舞台、岡寺、高松塚古墳、橘寺…日本の古代ロマンの里・飛鳥地方に二泊して駆け足で巡りました。日本文化発祥の地とも言えるこの地は私にとって初めてで、色々と勉強になりました。

橿原神宮に隣接して、聖徳太子の弟が建立したとされる久米寺があり、その古い縁起と有名な故事〝久米の仙人〟の話は、ここが出所と初めて知った次第です。

〜今は昔、吉野の竜門山腹にある竜門寺に、久米という男が籠もって仙人の術を修行していた。めでたく仙人となった久米が、空を飛行していると、吉野川のほとりで若い女が着物の裾をたくし上げ、洗濯しているのが見えた。その真っ白いふくらはぎに目を奪われ、あろうことか、久米は神通力を失って、女の前に落ちてしまった。

久米は、やがてその女と夫婦になった。そのころ、天皇は、都を造ろうと人夫を集めていた。久米もその人夫として働いていたが、仲間が彼のことを「仙人」と呼ぶのを聞いた役人は、「では、多量の材木を空を飛ばせて運んでみよ」といった。

そこで久米は、ある静かな修行道場で身心を浄め、断食し、七日七夜祈り続けた。八日目の朝、ついに久米の術は成功した。

一天にわかに曇り、雷が鳴り、雨が降り、が、しばらくすると空は晴れた。その時おびただしい数の材木が南の山から空を飛びこちらへ向かってくるではないか。

それを見た役人たちは久米を敬った。この噂は天皇まで届き、免田（税を免除される田）三十町（ヘクタール）が久米に与えられた。彼は喜び、そこに寺を建てた。それが久米寺である〜

※「県民だより奈良」ホームページを参照

これは『今昔物語集』収録の有名なエピソードですが、久米寺の資料では、あの東大寺の建材をわずか三日間で全国より神通力で集めた、ともあります。こうした逸話に事欠かないのが、奈良の社寺の凄いところです。

穏やかな山に囲まれた平野の中にコスモスが咲き始め、一千年以上の歴史と天変地異や災害、戦禍など、その時代時代に人々の喜怒哀楽がありました。そこには人の力では成し得ないような出来事も多くあり、祈りが必要とされたのです。

「大切なものは目に見えない」と言います。まさに〝魂〟に接した時間でした。

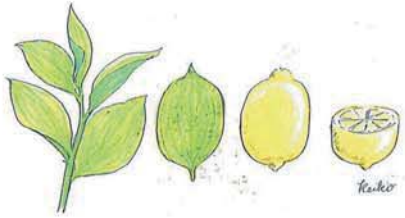
人々の祈りが地層のように折り重なった飛鳥。

〝百聞は一見に如かず〟と言いますが、自らの来し方、行き方にあらためて想いを巡らせ、センチメンタルな気分に浸らせてくれた、盛夏の訪問でありました。

折りふしのはな

レモンリーフ

ブーケやアレンジメントに
大活躍のレモンリーフ
レモンリーフはレモンの葉と
ずっと思っていましたら
そうではなく
葉っぱの形が
レモンに似ているからだそうで
無意識の思い込みに
改めて気付かされ
長持ちする
レモンリーフをあしらい
小品花を楽しんでいます　（遊）



行事案内

○九月八日　午後二時
薬師如来大護摩供

○九月十二日　午後二時
智泉院法要日（於・日本橋芳場町）

○九月十五日（日）年一回・午後二時
ぜんそく平癒祈祷

○九月十八日　午後二時
観音経読誦法要（於・神木観音堂）

○九月二十八日　午後二時
不動明王大護摩供

どなたさまもご自由にご参詣下さい
＊毎朝　六時より公開で二十分の勤行をしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

月例「止観（坐禅）会」…要予約
9/21（土）9:30〜10:30（500円）

〜『法華経』への誘い（四）〜

当山では昨年の十一月より「法華八講」が始まりました。平安時代から続く法儀ですが、これを現代的にアレンジし、『法華経』全八巻を八人の講師の方にご講義いただく予定です。

第二講は十一月十七日（日）開催、講師は曹洞宗の藤田一照師。講座内容は「信解品第三」（三車火宅の喩え）と、「譬喩品第四」（長者窮児の喩え）についてです。詳細続報、お楽しみに。

あとがき

○米大統領選は、バイデン氏よりハリス候補に。民主党大会では受諾したハリス氏の演説に大盛り上がり。このまま勢いに乗って初の女性大統領になるか。

○一方日本の岸田首相も総理の再選を断念。こちらは同じ水槽から大勢の候補者が出て乱立気味。ここでもお金が飛び交うのうでしょうか。

○パリ・オリンピックが閉幕。いろいろ話題があったが無事に終わり良かったデス。アスリート達の喜びや涙は素晴らしい。これからパラリンピックが9/8まで開催されます。

○九月十五日は「ぜんそく平癒祈願」です。現在具合の悪い方、良くなった方、日頃の健康に感謝を込めてお詣り下さい。

○「第四十三回かわさき鈴虫祭り」の愛好会会長・井田光政氏より当日(8/25)、無料頒布の鈴虫を、わざわざ寺に三箱届けて下さいました。リーン、リーン…と部屋でなく虫の音に、秋の訪れを想っています…。ありがとうございました。

合掌